

通し番号	中学校区	No.	大項目	小項目	分類	未回答	質問内容	回答
192	原野谷中学校区	1	説明会	説明内容		事例	三重県亀山市川崎小学校の生徒数は？地区の人口は？	児童の数については、川崎小学校450人です。地区の人口は、川崎地区は6,697人ということでございます。
193	原野谷中学校区	2	再配置の方向性	防災	防災拠点		新しい施設をつくる時に、災害時に対応することについてどのような考えをお持ちでしょうか？	避難所の考え方、大切な視点かと思えます。それぞれのプランの中で、個々の再編を検討する際には、防災の拠点をどのようにしていくかということも同時に、地域の皆様等とご相談させていただきたいと思えます。よろしく申し上げます。
194	原野谷中学校区	3	再配置の方向性	検討時に考慮すべきこと			新しい施設をつくる話はたくさん聞きましたが、高齢者が集える福祉的要素を含んだ施設の建設の話が聞かれませんでしたなぜでしょうか？	大切な視点だと思います。多くの世代が集える場所については、地域に必要な機能であると思えます。地域ごとに学習センターや小中学校等を再編整備していく際には、それぞれの地域の皆様とよく相談させていただきながら、このような高齢者が集える福祉的要素というような機能も確保、検討していきたいと思えます。よろしく申し上げます。
195	原野谷中学校区	4	再配置の方向性	各地域の平等性			延床面積の縮減目標約25%は、全中学校区均か？トータルか？	縮減目標の25%につきましては、市域全体で考えております。トータルでございます。それぞれ中学校区ごとに設置をしている施設の状況が異なりますので、今回の再編の方針の中では、最適化するという視点でそれぞれの再編プランをお示ししておりますので、中学校区によって削減率にはばらつきがございます。トータルで25%の削減を確保していきたいということで予定しております。よろしく申し上げます。
196	原野谷中学校区	5	説明会	説明内容			資料3の原野谷中学校区の小中学校の項の原野谷中学校RC築37年はRC築58年の間違いではないか。昭和36年には校舎ができていたはずなので。	資料3については複数棟ございますので、築年数の加重平均値というもので表しております。もしよろしければ、本日配付をさせていただきましたが、資料5がございますが、資料5の3ページに各棟の築年数を掲載しております。少し資料3の表記の仕方がわかりにくくて申し訳ありません。こちらの資料5の3ページをご覧いただきたいと思えます。こちらをご覧いただきますと、校舎南棟は1961年の3月の建築ということで、58年の築年数が経過しております。面積が2,225㎡ということになります。それから屋内運動場は2010年の2月に建築をしまして、築年数は9年、面積は1,308㎡ということで全体で4,735㎡の面積を原野谷中学校は保有しているということでございます。よろしく願いいたします。
197	原野谷中学校区	6	再配置の方向性	交通手段			新しい施設を利用するには、道路が必要になりますが、子供も高齢者も安全に利用できる道路整備は考えていますか。現在の道では子供や障害者は利用できないと思えますが。	全体条件として施設が遠くなった場合、先程少し申し上げましたように移動手段の確保というのは検討していきたいと考えております。ご質問いただきましたように、徒歩での移動というようなことを想定される場合については、場合によっては歩道の整備や歩行者の安全確保というのは必要になってくると思えます。地域に必要な施設やインフラのことについては、安全性という視点できちんと整備していきたいと考えております。
198	原野谷中学校区	7	再配置の方向性	小中学校の再編	具体的		原野谷中学校区の人口減少、少子化も進む中、当地区が活性化すると期待している小中一貫校は完成していただけるのか。当地域の発展のため尽力していただきたい。	小中一貫校を教育委員会は進めていきたいと思っております。そのために小中一貫教育を実現するため、研究指定を原野谷学園と城東学園の二つの学園で進めてまいりました。それは、中身の研究を活かせるような施設に今後していきたいと思っておりますので、皆様のご期待に答えられるように小中一貫校の実現に向けて進めていきたいと思っております。

199	原野谷中学校区	8	再配置の方向性	小中学校の再編	具体的		原野谷中学校区の検討に入る時、小中一体校の考えは活かしていただけるのでしょうか。活かしてもらいたいです。	今日の自己紹介の時に申し上げましたが、平成29年の12月から平成30年度にかけまして、原野谷中学校区の小中一貫校の地域検討委員会を開催して皆様と協議をしてみました。ふさわしい施設のあり方ということで検討してきたわけですが、その時に原野谷学園では一体校が望ましいということで報告を受けております。ですから、その地域の協議会で出された報告を基に教育委員会としましては、小中一体型の一貫校ができるかということで考えております。 ただ今日、公共施設の説明がございましたように公共施設を増やしていくというわけではございません。複合的に考えていく方向でおりますので、こういった施設がこの地域では必要なのかというようなことも今後検討していくということになりますので、その辺についてはもう少し時間が必要なのかなと思います。一体型の考えは活かしていきたいと思っております。
200	原野谷中学校区	9	再配置の方向性	その他			新東名と原野谷の地域づくりを市として、どのように考えているのか。	これにつきましては、都市計画マスタープランもご覧いただければと思いますが、森掛川インターチェンジから南に向かいまして、優良農地の保全と耕作放棄地等の有効活用を検討していきたいとか、あるいは仮称でありますけれども、掛川の西環状線や北環状線の整備・形成のこと、それから地域生活拠点を連携する幹線道路の整備のことを考えております。 当然、それだけではいけませんので、原野谷川等の河川の保全やまちづくりへの活用や身近な自然の保全と活用等の推進をしていきたいと思っております。 また、皆様がお暮らしになる時に、防災拠点の整備や地域防災体制の強化というのも非常に重要な視点になってまいりますので、ご質問をいただきましたことにつきましては、都市計画マスタープランの中では今申し上げたようなことで計画しているということで、ご理解いただければと思いますので、よろしく願いいたします。
201	原野谷中学校区	10	再配置の方向性	その他			掛川市の課題解決法として掲げている、または計画していることは何か。	本日ご説明させていただきました中で、少子高齢化や財政状況等色々な課題はございます。人口減少社会に立ち向かうというようなことの中で、掛川市が進めるまちづくりは協働のまちづくりを基本に掲げております。自治基本条例を平成25年に制定をいたしまして、それぞれ地域に地区まちづくり協議会を立ち上げていただいて、そういう皆様のお力で支えていただきながら、掛川市を創る、課題を解決していこうというのが掛川市の基本的な考え方でございます。よろしく願いいたします。
202	原野谷中学校区	11	再配置の方向性	跡地・空き施設			跡地の利用計画は具体的な案があるのか？	跡地につきましては、原則として不要な建物や土地は譲渡・売却することを基本に考えております。ただし、再配置を検討する際に、同時に跡地の方向性についての皆様と協議をしていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。
203	原野谷中学校区	12	再配置の方向性	交通手段			廃止検討で交通弱者の移動は？	再編あるいは再配置によりまして、今の土地、立地から少し施設が遠く離れてしまうのではないかとご心配かと思っております。こういった場合、掛川市では移動手段を確保する手法を考えていきたいと思っております。 例えば、仮にスクールバスが運行するようになれば、朝は生徒・児童さんが乗っていただいて、昼間の時間帯には高齢者の方ですとか、あるいは子育て世代の利用の方法とか、そういったようなことも含め足の確保の検討していきたいと思っております。